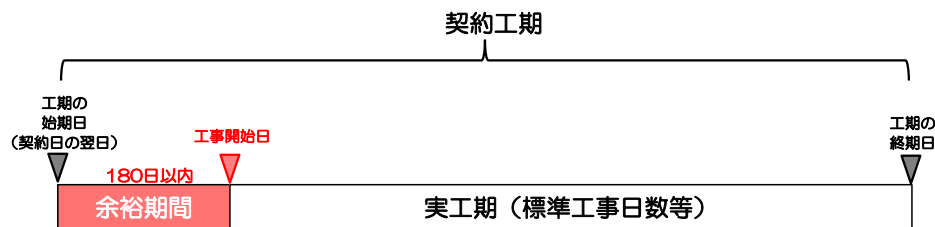


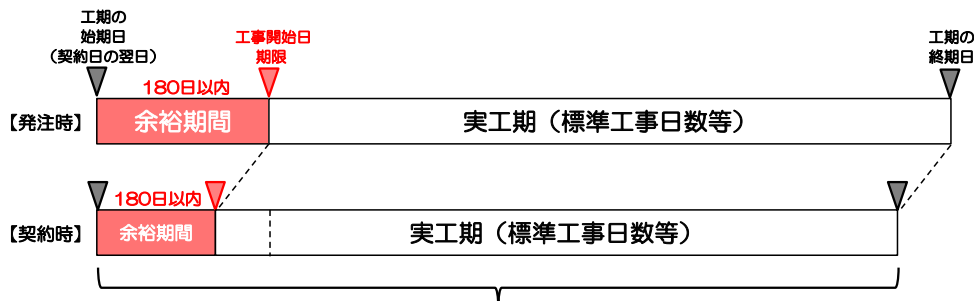
①工期の設定（イメージ）

【参考資料】

＜発注者指定方式＞

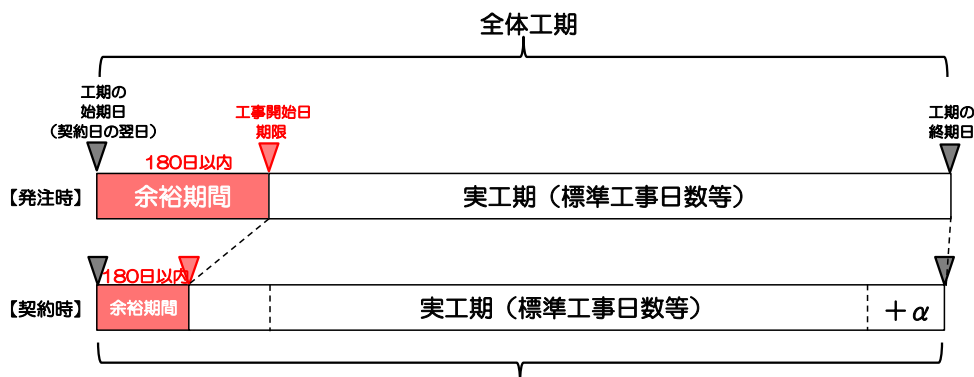


＜任意選択方式＞



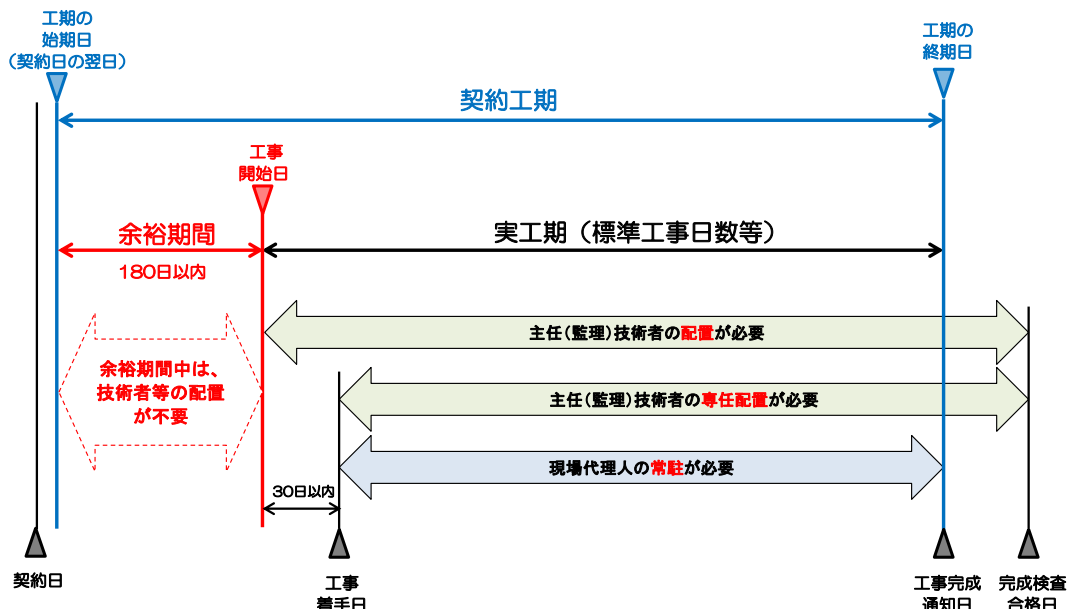
※余裕期間を短縮した場合、その分の契約工期も短縮する。
※余裕期間を短縮しても、工期の終期日を決めている場合、契約工期は短縮しない。

＜フレックス方式＞



※全体工期内で、工事開始日と工期の終期日（任意の期間）を決定することができる。
※任意の期間は、発注者が定める工事期間（標準工事日数等）以上を確保することを原則とする。
※余裕期間を短縮した場合、契約工期を短縮する必要はない。
※工期の終期日を決めている場合でも、上記を含めて、任意の期間を決定できる。

②余裕期間を設定した工事の技術者等の配置について（イメージ）



※備考
・別途履行中の工事に専任配置されている主任（監理）技術者であっても、発注者が設定した余裕期間内に当該別途工事の引渡し完了したものについては、配置予定技術者として入札参加が可能。